



平和新聞 東京版

2022年6月25日 東京版第117号

1950年12月16日 第三種郵便物認可 (日本平和委員会)

東京版発行 東京平和委員会

〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館5階

電話03-5927-1485 Fax03-5927-1487

E-mail tokyoheiwaikai@peace-21.jp



ロシアは直ちに撤退せよ、参院選で改憲勢力3分の2未満に 東京平和委員会第70回定期総会開く

6月11日、オンライン併
用で、東京平和委員会第70
回定期総会を開催しました。

総会には、10の地域代表
をはじめ20人(内オンライ
ン6人)が参加しました。

総会では、井出由美子代
表理事が「軍拡で暮しがつ
ぶされ、憲法9条が壊され
る危険をひしひしと感じる。
参議院選挙で何としても憲
法を守る議席を守ろう」と開
会挨拶。

来賓の千坂純日本平和委
員会事務局長は「岸田政権

と維新などからの攻撃は、
70年間、憲法と平和を守る
運動によって政権に余儀な
くさせていた、『専守防衛』
などの最低限の制約を葬り
去ろうとする重大なもの。
それを阻止する覚悟と情熱
で活動し、仲間を増やそう』
と訴えました。

討論では、
「4月30日に『沖縄と連
帯する集い』を開き、会場
に平和新聞見本紙を置いて
訴え、2人が購読してくれ
た。8月には地域の史跡を
めぐるピースウォークを計
画している。活動の継続で
平和委員会の存在が認識さ
れてきている。会員30人、
読者70人だが、会員を50人
にしていきたい。」

最大の課題になっている」
(中央区)

「地位協定改定や核禁条
約締約国会議へのオブザー
バー参加を求める陳情を区
議会に出した(前者は否決、
後者は継続審議)。
毎月4、5人の参加だが、
学習会を継続している」
(豊島)

「横田基地に飛来したF
16戦闘機の夜間訓練につい
て、市に申し入れたところ、
市も抗議文を出したという
ことだった。
配達集金を自前でできる
ようになった」
(日野)

「2月2回ロシア侵略反対
の行動を行い、毎回10〜20
人が参加、カンパも2万3
千円集まっている。
毎月理事会の他に、会員
が気軽に参加できる企画を
と、平和カフェを開始し、
馬毛島基地化問題のビデオ
を上映した。世代継承が進
んでいない中、会員拡大が

町田で学習会 講師和田春樹さん

5月29日、町田の平和委
員会と日朝協会共催で、東
大名誉教授(ロシアソ連史・
現代朝鮮史)の和田春樹さ
んの学習会を開か、80人余
が参加しました。

ロシアのウクライナ侵略
後、抗議声明を出し、停戦
交渉を呼びかけてきた氏は、
一時間半近く、最近の事態
や取り組みを紹介しました。
この戦争が東アジアに波
及せぬよう、平和憲法の理
念を活かした市民のアクシ
ョンを呼びかけました。
質疑応答では、九条の会
の取り組みや、先生の活発
な行動も紹介されました。

町田平和委員会は、参院
選「3分の2阻止」へ向け
毎週火曜日の町田駅頭宣伝



(署名三百筆に)を加速さ
せていきたいです。
町田平和委員会・奥村憲雄

軍事基地のない「やんばる」を 沖縄・高江座り込み15周年集会

「高江座り込み15周年報
告集会」が、6月5日、沖
縄県東村農民研修施設で1
70人が参加し、3年ぶり
に開催されました。

集会では、2016年7
月に同村高江へ機動隊を派
遣した6都府県と沖縄での
住民監査請求と、派遣の違
法を問う訴訟報告が東京、
愛知、沖縄の原告代表から
あり、愛知の名古屋高裁が
機動隊派遣を違法とする判
決を出したことが紹介され
ると、会場から拍手がわき
起りました。
ジュゴン保護キャンペー
ンセンターの吉川秀樹さん
は、北部訓練場の一部返還
地域を含む沖縄県北部の世
界自然遺産登録の経過の中
で、ヘリパッド建設を伴う
北部訓練場のことをほとん
ど書かなかつた環境省のず
さんな登録推薦状の状況を
報告しました。
集会では、今後とも軍事
訓練を監視し、あきらめず
にたたかうことが呼びかけ
られました。



沖縄県知事選挙 オール沖縄・玉城デニーが勝利

安保廃棄・沖縄県統一連
安保破棄中央実行委員会
安保破棄東京実行委員会
東京平和委員会

辺野古新基地の是非をめぐり決定的な対決の場となるとともに、復帰50年の沖縄県民の命とくらしがかかった沖縄県知事選挙が8月25告示9月11日投票で行なわれます。

辺野古新基地を阻むために命がけでたたかった故翁長雄志前知事の遺志を継いで、2018年に知事に就

任したオール沖縄の玉城デニーさんが2期目への立候補を表明し、全力で奮闘しています。

玉城デニー知事は今回の立候補に当たり、辺野古新基地について、軟弱地盤の問題が解決されていないことや環境への影響を指摘し、「辺野古新基地は断固として認められない」と力強く表明しています。

台湾問題をめぐって米中の軍事的な衝突が起きれば、沖縄が標的となり戦場化する危険が現実化しつつあります。沖縄は復帰前どころか、まるで戦前に戻ったかのようです。

こうした中で玉城デニー知事は、平和的な外交・対話により緊張緩和と信頼醸成をはかることで平和構築に寄与する沖縄県政を強く訴えています。沖縄と日本にとってかけがえのない玉城デニー県政を継続・発展させることは、沖縄県民だけでなく多くの国民の願いです。

知事選勝利の試金石とな

る参院選では、オール沖縄のイハ洋一さんが、「辺野古新基地容認」を明言する自民公認候補と激しいたたかいを繰り広げています。

イハさんの圧倒的勝利とあわせて、玉城デニー知事の再選を勝ち取るためには、これまで以上の大きな支援が必要です。

安保破棄東京実行委員会と東京平和委員会は、沖縄県知事選挙への募金を取り組みます。

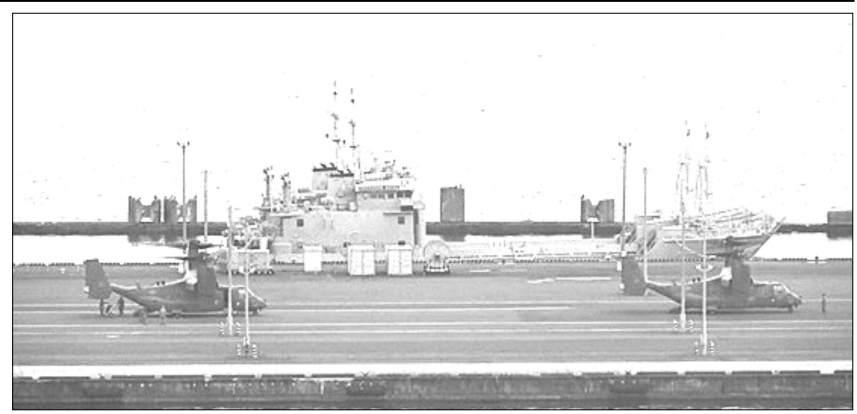
沖縄と日本の平和な未来のために、みなさまのご支援を心から願います。

◇カンパの送付先 安保破棄東京実行委員会・東京平和委員会
郵便振替口座 0012017128634
加入者名 安保破棄東京実行委員会
※郵便振替用紙の通信欄に「県知事選支援カンパ」と書いてください。

3機のCV-22オスプレイ 横浜ノースドックから横田へ

6月9日の午前11時過ぎ、横浜ノースドックの先端部に2機のCV-22オスプレイが並んだ。

昨年7月6日に、横田基



地に6機目が無通告で配備され、現在6機が配備されています。

6月2日に横浜ノースドックに、CV-22オスプレイ3機が突然飛来したのを、米軍の行動を監視している「リム・ピース」が捕らえました。

6日に、横浜ノースドックに寄港したサンディエゴからの貨物船「SLN Cヨーク」に、この3機が積み込まれました。

9日には、異なる機体ナンバーのCV-22オスプレイが貨物船から陸揚げされているのが確認され、横浜ノースドックから3機のC

V-22が相次いで離陸し、横田基地に向いました。

横田基地のCV-22オスプレイ3機がメンテナンスのため貨物船に積み込まれ、新たに3機が陸揚げされ横田基地に配備されたようです。

北関東防衛局も、3機が横浜ノースドックに向かったことを認め、同時に機体の数は変更ないとも通知していました。

貨物船に積み込まれたオスプレイのメンテナンスが終わり戻ってくれば9機体制となります。

2年後に10機体制にする計画で、10機編成化を急ぐ場合は、整備を終えた他の飛行隊で使用していた機体を横田へ配備する可能性もあります。

新規交代配備の事前通知はなくまたもや無通告でした。

6月9日、カリフォルニア州の海兵隊基地キャンプ・ペンドルトンを拠点とするMV-22オスプレイが8日昼（日本時間9日未明）、同州南東部・メキシコ国境に近いグラミス付近に墜落したと発表しました。同機

は訓練中で、米紙の話として、4人が死亡したと報じています。同型機は3月にもノルウェーで演習中に墜落し、4人が死亡。オスプレイの墜落事故は今年に入って2件目です。

13日に木更津の住民の会のみなさんと防衛省要請に参加しました。

防衛省は「米軍が安全と言っているから問題ない」と繰り返すだけでした。

原水禁大会に参加を

2022年原水爆禁止世界大会が広島・長崎での現地集会を基本に、オンライン参加も含め開催されます。

2年ぶりの被爆地での開催です。

広島・8月4日〜6日
長崎・8月9日の日程です

世界大会は、地域から各地域原水協と連絡を取って参加しますが、個人で参加する場合は東京平和委員会に登録して参加してください。

詳細は、東京平和委員会までご照会ください。

原水禁大会に参加を